

現代短歌分類辭典

第七十七卷

津 端 亨 編 纂

津 端 亨 編 纂

現代短歌分類辞典

第七十七卷

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辞典

77

昭和五十八年三月廿日発行 定価二、〇〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端

亨

〒111

東京都台東区鳥越一―十一―八

発行所

現代短歌分類辞典刊行所

代表者 津 端

亨

振替 東京 三―九三―一四
電話 〇三―八五一―九八六九

(第七十七卷)

(1)

板橋

九九

いたはしき

六七

いたはしく

七五

いたはしけれーど

七六

いたはしけれーば

〃

いたはしき

〃

板橋宿

三

板橋ーす

一

板橋徳丸町

一

いたはしーみ

〃

いたはつーて

〃

いたはらーう

七六

いたはらーざりーき

〃

いたはらーざりーし

七九

いたばーらしき

〃

いたはらーす

〃

いたはらーず

〃

いたはらーすーらし

一

いたはらーむ(終止形)

八

いたはらーむ(連体形)

一六

いたはらーむーと

一一

いたはらーむーとーや

一

いたはらーるる

二

いたはらーるるーべき

一

いたはらーれ

二四

いたはらーれーけり

三

いたはらーれーし

一

いたはらーれーたり

一

いたはらーれーたる

一

いたはらーれーつつ

二

いたはらーれーつる

一

いたはらーれーて

四

いたはらーれーなーば

一

いたはらーれーるーし

一

八〇

〃

八一

八二

八三

〃

〃

八四

八六

〃

〃

〃

〃

八八

〃

八九

〃

いたはりーたすけーられ	一	
いたはりーたびーし	一	
いたはりーたまふ (終止形)	五	
いたはりーたまふ (連体形)	六	
いたはりーたまへ	一	
いたはりーたもれ	一	
いたはりーつ	六	
いたはりーつかれ	一	
いたはりーつつ	九	
いたはりーて	一四	
いたはりーながむ	五	
いたはりーながら	一	
いたはりーなれーて	六	
いたはりーにーけむ	二	
いたはりーにーけり	一	
いたはりーぬーべし	六	
いたはりーぬーべし	二	
いたはりーぬーべし	一	

一〇八	〃
一〇九	〃
一一〇	〃
一一一	〃
一一二	〃
一一四	〃
一二五	〃
一二六	〃

いたはりーはげます	一	
いたはりーまさーむ	一	
いたはりーましーつ	二	
いたはりーましーぬ	一	
いたはりーまつる	一	
いたはりーまもる	一	
いたはりーやらーな	一	
いたはりーやらーむ	二	
いたはりーやらーん	一	
いたはりーやる	一	
いたはりーやれ	一	
いたはりーやれーど	一	
いたはりーゆかーむ	四	
いたはりーゆく	一	
いたはりーゆけーよ	一	
いたはりーゐーたまふ	一	
いたはりーゐーて	一	

一三六	〃
一三七	〃
一三八	〃
一三九	〃
一四〇	〃
一四一	〃
一四二	〃
一四三	〃
一四四	〃
一四五	〃
一四六	〃
一四七	〃
一四八	〃
一四九	〃
一五〇	〃

いたぶさーれーなーむ	一	
板ぶすま	一	
板舟	五	
いたぶらーる	一	一五八
いたぶらーれーこーし	一	〃
いたぶらーれーたる	一	〃
いたぶらーれーつつ	一	一五九
いたぶらーれーゐーつ	一	〃
いたぶ	一	〃
いたぶりーかへす	一	〃
いたぶりーて	二	〃
いたぶりーふきーて	一	一五九
いたぶる(終止形)	四	一六〇
いたぶる(連体形)	三	〃
いたぶるーごとき	一	〃
いたぶるごとく	一	一六三

いたぶるーらし	一	
いたぶれーる	二	
板屏	三	
板塀ぞひ	一	〃
板へら	一	一六七
板間	三	一六七
いたまーざらーめーや	二	一七〇
いたましーざる	二	〃
傷まし	四	〃
いたましい	六	一七四
いたましう	四	一七五
いたましからーず	二	一七五
いたましかりーき	一	〃
いたましかりーぬ	一	一七六
いたましき	一〇	〃
いたましきーかな	一	一八四
いたましきーかなーや	一	一八六

いたましきーかも	七
いたましきーに	一
いたましきーまで	六
いたましきーまでーに	三
いたましきーまでーの	二
いたましく	七四
いたましくーて	五
いたましくーも	一
いたましざ	二〇
いたましーと	九
いたましーの	一
いたましみ	四
いたましみーつ	一
いたましむ	一四
いたましむーべし	一
いたましむる	四
いたましめ	一

一八六 一八七 一八八 一九四 一九五 一九七 一九八 二〇〇

いたまーしめーし	二	二〇〇
いたまーしめーつつ	一	二〇一
いたまーしめる	一	〃
いたましーも	三	〃
いたましーや	九	〃
いたまーず	八	二〇二
いたまーすーと	一	二〇三
いたまーずーや	一	二〇三
いたまーする	一	〃
いたまーせ	一	〃
いたまーせーて	一	〃
いたまーぬ	二	二〇四
板 前	一	二〇五
いーたまへーば	一	〃
いたまーむ (終止形)	四	〃
いたまーむ (連体形)	一	〃
いたまむーを	一	二〇六

いたまーむーと	四	二〇六
いたまーるる	二	〃
いたまーるるーがに	一	〃
いたまーれーつつ	一	二〇七
いたまーん	三	〃
悼み	二	〃
伊丹	二	二〇七
痛み(名詞)	三九	二〇八
いたーみ	四六	二四〇
いたみ(動詞)	七三	二四四
傷み	二	二五〇
いたみーいだしーぬ	一	二五一
いたみーいたみーて	一	〃
いたみーいづ	五五	〃
いたみーいづる	二	二五六
いたみーいでーけり	一	〃
いたみーいでーし	二	〃

いたみーいでーたれーば	一	二五六
いたみーいでーにーけり	一	二五七
いたみーいりーて	一	〃
いたみーき	四	〃
悼みーきたりーて	一	〃
いたみーきたれーば	一	二五八
いたみーきーて	三	二五八
いたみーきーぬ	三	二五八
いたみーく	二	〃
いたみーぐせ	一	〃
いたみーぐる	一	二五九
いたみーくる	一七	〃
いたみーくるーなり	一	二六〇
いたみーくるる	一	二六一
いたみーくれーば	一	〃
いたみーけり	二	〃
いたみーける	一	〃
いたみーこーし	二	〃

悼みごと

いたみーこーぬ

伊丹酒

いたみーし

悼みーし

いたみーすぎーたる

いたみーそめーたる

いたみーそめーつつ

いたみーそめーつーと

いたみーそめーにき

いたみーそめーぬる

いたみーだす

悼みーたてまつる

悼みーたまひーし

悼みーたまへーり

いたみーたりーけむ

いたみーたりーけり

一	一	一	三	一	三	一	一	一	一	三	一	一	二六	一	一	一
二六二	二六二	二六二	二六七	二六七	二六七	二六六	二六六	二六五	二六五	二六五	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六二

いたみたる

いたみーたるーらむ

いたみーつ

いたみーちる

いたみーつ

いたみーつ

いたみーつづけーし

いたみーつづける

いたみーて

悼みーて

痛み処

いたみどめ

いたみーながら

いたみーなげかふ

いたみーなーば

いたみーぬ

いたみーぬけ

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二六七	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八

いたみーのーいづみ	一	二七四
伊丹の里	一	二七五
傷みーはーてし	一	〃
悼み文	一	〃
いたみーまつりーし	二	〃
いたみーまつる	一	〃
傷み目	一	〃
いたみーやすい	二	二七六
いたみーやすかりーき	一	〃
いたみーやすさ	四	〃
いたみーやすく	二	二七七
いたみーやすけれ	一	〃
いたみーやすし	一	〃
いたみーやまーぬ	一	〃
いたみーゆく	一	〃
悼みーゐーつ	二	
傷みーやまーなく	一	二七八

いたみーゐる	三	二七八
いたみーをり	一	〃
悼みーをれーば	一	〃
痛む(終止形)	五四	〃
痛む(連体形)	一八九	二八三
悼む(終止形)	一三	二九九
悼む(連体形)	三六	三〇〇
傷む(連体形)	一	三〇三
いたむーか	二	〃
いたむーが	二	三〇四
いたむーかな	二	〃
いたむーがに	二	〃
いたむーからーに	一	〃
いたむーこそ	一	〃
いたむーごとくに	一	〃
いたむーごとし	一	三〇五
いたむーさへ	一	〃
いたむーてふ	一	〃

いたむーと	いたむーとーど	いたむーとーなく	いたむーとも	いたむーとーもーなき	いたむーとーもーなく	いたむーとーもーなし	いたむーなく	いたむーならーば	悼むーなり	痛むーなり	悼むーなりーけり	いたむーに	いたむーにーも	いたむーの	いたむーのーだ	いたむーは
二〇	二	一	二	一	一	一	一	一	四	一〇	一	一〇	二	一	一	二

三〇五	三〇六	三〇六	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇八	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

いたむーばかりーか	いたむーばかりーなり	悼むーはーや	いたむーべき	いたむーまで	いたむーまでーに	いたむーも	いたむーより	いたむーらし	いたむーらむ	いたむる	いたむるーな	いたむーを	板目	いため(命令形)	いため(連用形)	こそ いため
一	一	一	二	八	二	五	一	五	一	一三	一	五	五	五	一三	一
三二	〃	〃	〃	三二	〃	三三	〃	〃	〃	三四	三五	〃	三六	〃	三七	〃

いためーき	一
いためーける	一
板目沢	一
いためーざる	一
いためーし	一四
いためーじ	三
いためーず	二
いためーた	一
いためーたまひーき	一
いためーたまひーつる	一
いためーたまふーな	一
いためーたり	一
いためーたる	六
いためーつ	一
いためーつくしーて	一
いためつけーられーし	二
いためーつつ	三

三二七	〃
三二九	〃
三二九	〃
三三〇	〃
三三一	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
三三二	〃
〃	〃
三三三	〃
〃	〃

いためつける	一
いためーて	七
いためーど	一
いためーども	五
いためーなば	一
沙煮(いために)	一
いためーぬ	二
いためーば	二〇
いためーまつりーき	一
いためーむ	一
いためーらるる	一
いためーられーた	一
いためーられーつつ	二
いためーり	二六
悼めーり	三
いためーりーし	一
いためーる	五六

三三三	〃
三三四	〃
〃	〃
三三五	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
三三七	〃
〃	〃
三三八	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
三三〇	〃
三三一	〃

いためーるーならーむ	一	三三六
いためーるーらしき	一	〃
いためーれーど	一	〃
いためーるーて	二	〃
いためーる	一	〃
いためーん	一	三三七
いたも	五一	〃
いたーもーいたーも	一	三四一
板持の史	一	〃
いたーやーいたーや	二	三四二
痛矢	二	〃
板谷	三	〃
板屋	三三	〃
楓(いたや)	二	三四五
いたやーあたり	一	〃
いたやー楓	二	三四六
いたやかへで葉	一	三四七

痛矢串	三	三四八
板谷峠	一	〃
板屋根	二七	三四九
板谷の峠	一	三五一
板屋の町	一	三五二
板屋の峰	一	〃
板屋の紅葉	二	〃
板谷の山	二	〃
板屋庇	一	〃
いたやぶな	一	三五三
板屋紅葉	一二	〃
板床	四	三五四
板廊	一	三五四
板廊下	三	〃
いたらーざらーむ	一	三五五
いたらーざらーめーや	二	〃
いたらーざりーけり	二	〃

いたらーざりーける	一	三五六
いたらーざりーし	二	〃
いたらーざる	六	〃
いたらーざるーべし	一	〃
いたらーらし	一	三五七
いたらーしむ	二	〃
いたらーしめーし	一	〃
いたらーしめーたり	一	〃
いたらーしめよ	一	〃
いたらーず	二九	三五八
いたらーで	一	三六〇
いたらーな	二	〃
いたらーね	二	三四六
いたらーねーど	二	三六五
いたらーねーば	一	〃
いたらーむ	二二	〃
いたらーむ	二三	三六六

④ いたらーむ	一	三六八
③ いたらーむ	一	〃
② いたらーむ	一	〃
① いたらーむ	二五	三六九
いたらーむ	一	三七一
いたらーむ	一	〃
(倒置法)		
いたらーむ (連体形)	九	〃
いたらーむーと	一〇	三七二
いたらーんと	三	三七三
いたり	四	〃
射ーたり	一	三七四
いたり (連用形)	五一	〃
イタリー	九	三七八

合計 三九三六 首